


タイトル	
地域の農業を担う認定農業者が 全国麦作共励会「全国農業協同組合中央会会長賞」を受賞	
概要 （発表内容を簡単に記入してください）	
<p>宗像市牟田尻を中心に、地域の農業を担う認定農業者の清水陽介氏が、令和4年度全国麦作共励会の農家の部において、「全国農業協同組合中央会会長賞」を受賞しました。</p> <p>全国麦作共励会は、麦作農家の生産技術の向上と経営の改善を通じて、生産性及び品質の向上・流通の合理化を推進することを目的として昭和49年から開催。</p> <p>今回、平均を上回る収量や品質、地域の農業者への積極的な技術普及が評価され受賞されました。</p> <p>令和4年度は、14道県41農家（農家の部）が参加し、同賞は5つの賞のうち「農林水産大臣賞」「全国米麦改良協会会長賞」に次ぐ賞であり、九州からは唯一の受賞です。</p>	
内容 （発表内容のポイントを記入してください。別紙資料でも可能）	
<p>■全国麦作共励会</p> <p>主催 （一社）全国農業協同組合中央会、（一社）全国米麦改良協会</p> <p>参加者(R4年度) 14道県から「農家の部」41点、「集団の部」37点</p> <p>審査方法 都道府県、地域ブロックの審査委員会を経て、中央審査委員会（全国大会）にて審査</p> <p>審査基準 生産技術の向上、経営改善、創意工夫などの観点から審査</p> <p>■受賞者</p> <p>清水 陽介（しみず ようすけ）生年月日：昭和54年3月11日（44歳）、就農17年目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牟田尻地区（宗像大社の北東地域）にて、水稻、麦、大豆の土地利用型作物と、露地野菜の複合経営を行う専門農家。 ・小麦「チクゴイズミ」10.2ha、ラーメン用小麦「ちくしW2号」2.6ha、ビール大麦「ほうしゅん」5.8haを栽培。先進農家として地域の農業者指導や助言を行うなど、地域の高収量・高品質麦をけん引。 ・宗像市認定農業者協議会の会計や、イノシシなどの有害鳥獣の駆除活動、地域の小学校で出前授業を行うなど、地域貢献活動等にも積極的に参画。 <p>■受賞のポイント</p> <p>麦作りに重要な「排水対策」「土づくり」の基本技術に加え、新たな技術の導入などにより、以下の成果を上げるとともに、地域の農業者への指導や助言なども積極的に実施する点が評価。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収量の向上 ・・・10a当たりの収量が、宗像農業協同組合員の平均よりも約30%多い ・品質の改善 ・・・全ての品種で上位等級の比率が100% ・労働時間、コストの削減 ・・・10a当たりの労働時間が約4.3時間（福岡県平均より約25%少ない） 	
	
本件に関する報道関係者の方のお問い合わせ先	
宗像市 農業振興課 担当：永瀬、椎葉 TEL：0940-36-0041	